

三原市長

天満 祥典 殿

要 望 書

平成 27 年 10 月 28 日

三原商工会議所

はじめに

三原市の景気状況について、本所が実施する景気観測調査の結果でみると、緩やかな回復傾向であるものの、景気判断指数であるDIポイントは依然としてマイナス領域で推移し、市内事業者は景気の明るさを実感できていない状況であるといえます。

そうした中、事業主の高齢化による事業所の閉店、支店・営業所の統廃合や移転等により事業所数は減少傾向にあります。また、全国的な人口減少傾向の中、当市でも人口はもちろん生産年齢人口の減少が懸念されています。

市内の雇用状況をみると、有効求人倍率は8月期1.42倍で、最近のピークである昨年12月(1.52倍)よりも倍率は下降しているものの、市内企業では雇用の確保が難しい状況であることも見受けられます。工業団地への新規企業進出、新たな工業団地整備のうごき等、地域にとって明るい話題がある中、雇用確保が難しいという状況は、新たに進出する企業にとってもマイナス要素であり、地域づくりを考える上で対処しなければならない課題です。

三原市におかれましては、平成36年までの10年間の長期総合計画を策定され、「行きたい住みたい つながりたい 世界へはばたく瀬戸内元気都市みはら」を基本理念に掲げたまちづくりに取組まれることになりました。

人口減少・少子高齢化、経済・産業のグローバル化等の社会情勢も考慮された計画を策定されておられますが、地域資源を活用しながら、雇用の場があり、子育てがしやすい、医療の充実した、高齢者にやさしい「まちづくり」をめざし取組んでいただきたいと存じます。

三原商工会議所では、地域経済の発展のための事業活動に取り組む中、会員アンケート調査を実施し、「販売商業・生産工業・建設・サービス・運輸車輛」の五つの部会より提起された課題について協議を行い、次の通り要望をとりまとめました。

市内中小企業の育成と活性化による元気な地域となるため、長期総合計画の中で掲げられる5つの挑戦「働く場づくり(市内事業者数)・交流人口拡大(市外からの年間観光客数)・子ども・子育て充実(合計特殊出生率)・市民の健康づくり(健康寿命)・住み良さ向上(社会動態の人口変動)」に当てはめて要望をいたしますので、何卒よろしくごお願い申し上げます。

(1) 働く場づくり

●建設関係工事並びに物品販売の地元発注について

三原市の発注する公共工事及び市が調達する物品等の市内販売業者への発注については、地域雇用や地元経済の活性化に大きく繋がることから、地元建設関連業者並びに市内販売業者への優先発注について、一層の推進をいただきたく引続きご対応をお願いいたします。

●低入札調査基準価格、最低制限価格の引き上げ等について

建設業者が新規雇用確保や人材育成及び労働環境の改善に取り組むためには、さらなる経営基盤の強化・安定が必要です。そのためにも、三原市内の実情に応じた設計労務価格の改善や積算体系の見直し、低入札調査基準価格や最低制限価格の引き上げをお願いいたします。

●本郷地区の工業団地の早期整備について

惣定工業団地に、新たな工場進出が決まり、分譲率は91.6%になったことから、新たな企業進出の受入が出来ない状況になっているといえます。

災害が少ない地域で、交通アクセスもよい地の利を活かし、現在、広島県が計画をしている本郷地区の工業団地についても早期に整備を進めていただきたいと思います。

現在は、地元から県議会議長が選出されており、この機会に、市と経済界で連携し、県に働きかけていただきますようお願いいたします。

●新規創業支援対策について

平成27年度は、三原市起業化促進連携協議会において「みはら創業応援隊」を設置し新規創業の積極的支援策が講じられていますが、従来から制度化されている「三原市中心市街地新規出店支援事業補助金」、「三原市地域商業活性化支援事業（新規出店支援事業・経営支援事業）」については、新規出店者の支援策として平成27年8月の時点で8件の利用者があり、エリア、業種等幅広くご利用いただけるようになっておりますので、引き続き継続いただくようお願いいたします。

- | | |
|--------------|---------------|
| ・ 美容業・・・2件 | ・ 飲食業・・・3件 |
| ・ 製造小売業・・・2件 | ・ 中古車販売業・・・1件 |

●一次産業者の育成・六次産業の創出について

道の駅の運営支援をする中で、産直市の農産物の売上が伸び悩んでいる状況が伺えます。

これは、道の駅の立地的要素や、生産者が高齢化し生産や納品をやめてしまうこと等から、生産物の納入量不足によるものが要因であると考えられます。

三原市の将来の農業を維持していくためにも、若手生産者の育成が急務であると考えられます。

また、三原市は各種フルーツの産地であり、ふるさと納税のお礼の商品でもフルーツが人気のようではありますが、生産量に限りがあり全国的に広く認知されるまで至っていないも

のもあるように思われます。生産量の拡大やブランド化を目ざし、高付加価値化できるようご対応をお願いいたします。

(2) 交流人口拡大

●三原城築城 450 年に向けた市民の意識醸成について

・三原城築城 450 年事業に向け、城跡周辺の整備計画の策定をされていますが、三原市のシンボルとして、市民が親しみの持てるものとなるよう整備をお願いいたします。

・西堀の浄化のための清掃が行われましたが、その成果がわかりにくい状況であるようです。経過検証をいただき、よりキレイなものとなるよう取り組んでいただくようお願いいたします。

・瀬戸内三原築城 450 年事業の基本方針で「観光が、三原を支える産業の柱の一つとなる「観光のまち三原」の実現」が掲げられ、三原のブランド化・おもてなしの充実がポイントとなっています。

現在、みはら神明鶏・三原やっさダコといった地域の食材を利用した商品やメニューが誕生し、市内外で注目されておりますが、さらに注目度を高めるよう、商品開発についてのご支援をお願いいたします。

●市内 W i - F i 網の整備について

三原市内では、無料で W i - F i 網を利用できる箇所が少ない状況であるといえます。

W i - F i 網の整備により、観光客による S N S 等を利用した情報発信、また、ビジネスマンの利便性の向上につながるものと考えられます。

三原駅周辺や、各観光名所等への無料 W i - F i の設置についてご検討をお願いいたします。

(3) 子ども・子育て充実

●定住促進のための施策について

本所では市内の工業団地の就業者を対象に平成 27 年 7 月にアンケート調査を実施しました。三原市の借家事情について尋ねたところ、約 69%の方が借家を借りにくいと回答し、その理由としては「家賃が高い」、「物件が古い」というものでした。今後、定住者を増やしていくためには、こうした住居の問題、また、三原市では施設が整備されている分、上下水道料金が近隣都市に比べ高いというイメージがあること。さらには、他都市との教育の格差、産婦人科、夜間・休日の小児医療の問題等が気になる旨の回答も見受けられました。

定住促進のため、就業・教育・医療の問題について総合的な対応をお願いいたします。

(4) 市民の健康づくり

●健康づくり商品の開発について

他都市では、健康産業を推進する協議会を設け、金融機関との連携により「健康寿命延伸特別金利定期積金」という定期健診を年に一度受診すると金利が通常よりも引き上げるといような健康管理に取り組む人に対して優遇措置を施す金融商品の開発が行われ、想定していた契約件数よりもたくさんの契約につながったという事例もあるようです。

当市でも、市民の健康寿命を延伸できるような工夫のある取り組みやサービスを開発していくため、行政・事業者・各種団体・金融機関・医療機関等で協議会を設置する等の連携についてご検討をお願いいたします。

(5) 住み良さ向上

●買物弱者対策について

高齢化が進み交通弱者が増加していく中、ペアシティ西館の核テナントが閉店し、駅前周辺の買物がとても不便となっているという声を聞きます。買物弱者対策のため各テナント誘致活動はもちろんですが、三原駅・三原港・医療機関・量販店・商店街等を循環するお買物バス等の試験的運用についてご検討いただきますようお願いいたします。

●「中心市街地活性化基本計画」認定後の対策について

中心市街地活性化基本計画が認定された後、掲げられた計画を推進していくため、三原市と商工会議所との具体的な協議を行う場を設けていただきますようお願いいたします。

中でも、基本計画の推進役を担う「まちづくり会社」の機能強化を図っていくことが必要不可欠であり、タウンマネージャーを中心とした、スタッフの強化及び財政的措置等についてコンセンサスをはかっていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

●市花“さつき”と三原さつき祭りについて

三原さつき祭りは、平成28年の開催で25回目を迎えます。

三原の4大祭りのひとつ、春のイベントとして毎年5月の第4土・日に開催されていますが、開催時期に会場の宮浦周辺咲く花が“さつき”でなく“ツツジ”であるため、祭りの期間にはほとんどが散ってしまっています。(ツツジの開花時期：4月中旬～5月初旬、さつきの開花時期：5月中旬～6月中旬)

そのため、以前から開始時期を含めた疑問の声が市民より数多く寄せられ、“さつき”を冠りとする祭りのイメージダウンになっており、“さつき”が市花であることも市民に伝わっていないと思われます。

“さつき”は、維持・管理に手間がかかることもあり、歩道脇への植え込みには適さないとも言われているようですが、さつき祭りの開催時期に“さつき”の花が咲き誇るような環

境整備に是非取組んでいただきますようお願いいたします。

●景観対策について

景観は「まちづくり」の入口であり、結果でもあります。

三原の都市景観を貧しく見せているのは電線・電柱で、景観の上で真先に取り組む課題と考えます。将来構想を考慮し、電線・電柱の地中化について調査・検討をお願いいたします。

●環境にやさしいまちづくりについて

現在三原市で実施されている「家庭用燃料電池システム（エネファーム）設置費補助事業」のように、環境性能に優れた製品の普及に効果的な補助制度につきまして、さらなる広報ならびに情報提供をお願いいたします。

また、現在進行中の三原市中心市街地活性化基本計画の中に、街路灯設置事業が記載されております。そこで、LED照明や太陽光発電式の街路灯を設置するなど、環境に配慮したインフラ整備を推進することで、環境にやさしいまちづくりを実現していただきますようお願いいたします。

●道路網の整備について

①道路わきの草木の除去（清掃）について

恵下谷近辺や八幡町から世羅町へ向かう道路など山間部で、道路わきの草木が、車道にはみだして見通しが悪くなっている箇所が多々ありますので、交通事故が起きないように不要な草木を除去し、見通しをよくしていただくことが必要だと思われます。

また、交通量の多い道路付近では、道路から少し離れた箇所に、市花“さつき”をはじめとするきれいな花を植えるなど、景観の向上についてご検討をお願いいたします。

②西部工業団地の街灯設置について

西部工業団地付近では、街路灯が少なく夜道が大変暗くなっています。歩道を歩く人の安全確保のためにも街路灯の設置をお願いいたします。

また、「小原第三公園」で、ゴミの不法投棄が見受けられますので防止策を講じていただきますようお願いいたします。

③県道 155 号三原本郷線の拡幅について

県道 155 号三原本郷線の西野 4 丁目付近について、道路が狭く車両が交差・離合するのが困難で、側溝に脱輪してしまう車両も見受けられるため拡幅工事の検討をお願いいたします。

④三原バイパス木原 IC 付近の渋滞緩和について

三原バイパスの木原 IC 付近は、朝夕慢性的な渋滞が発生しています。また、尾道バイパスの吉和 IC 付近でも三原方面に向けて渋滞することが多々ありますので、木原道路の早期

整備をお願いいたします。なお、完成するまでの期間においては、木原 IC の信号のタイミングの調整より、できるだけ渋滞が緩和するよう取り組みをお願いいたします。

●広島空港の利用促進について

①広島空港のイメージアップについて

平成 27 年 4 月のアジアナ航空機による広島空港の事故では、計器着陸装置が故障してしまい、その結果、気象条件により 59 便が欠航するという事態になり、利用者が大幅に減少しました。

幸いにも予定よりも早く、9 月に計器着陸装置（CAT-IIIb）の改修が済んだものの、この事故により広島空港は天候に弱いというイメージダウンにつながったことは否めず、一部の利用者が他の交通機関にシフトし、いまだ利用が回復をしていない状況も見受けられます。

5 月期に計器着陸装置（CAT-I）が運用再開した際には「いつもの、広島空港へ」のキャッチフレーズで広島空港の就航率改善のキャンペーンが行われておりましたが、“陸・海・空”の交通拠点都市を標榜する三原市としては、引き続きイメージアップのための取り組みが重要なことですので、ご対応をお願いいたします。

②リムジンバスの接続の改善について

広島空港で利用者の多い「広島-東京便」ですが、ビジネス利用の際、帰着する航空便とリムジンバスの接続が悪く利用しにくいという声があります。

広島空港の利用促進のためにも、リムジンバスの接続が改善されるよう取り組みをお願いいたします。

●J R 三原駅の利便性向上について

新幹線を利用する際に、各駅で、のぞみ・さくら号等の待ちの時間が長く、また、1 時間に 1 本しかこだま号がないため、広島-三原間等では、在来線を利用した方が早く到着する場合もあります。各駅での停車時間短縮や、こだま号の先ずは 2 時間に 3 本、更には 1 時間に 2 本の運用について等の改善の取り組みをお願いいたします。

おわりに・・・

本所会員に対し実施したアンケートより、「三原市が住みやすい、仕事がやりやすい街になるためにはどうしたら良いか。」についてたずねました。その回答を別冊の通り添付させていただきますので、一読いただきご参考にさせていただけたら幸いです。

平成 27 年 10 月 28 日

三原商工会議所

会 頭 勝 村 善 博